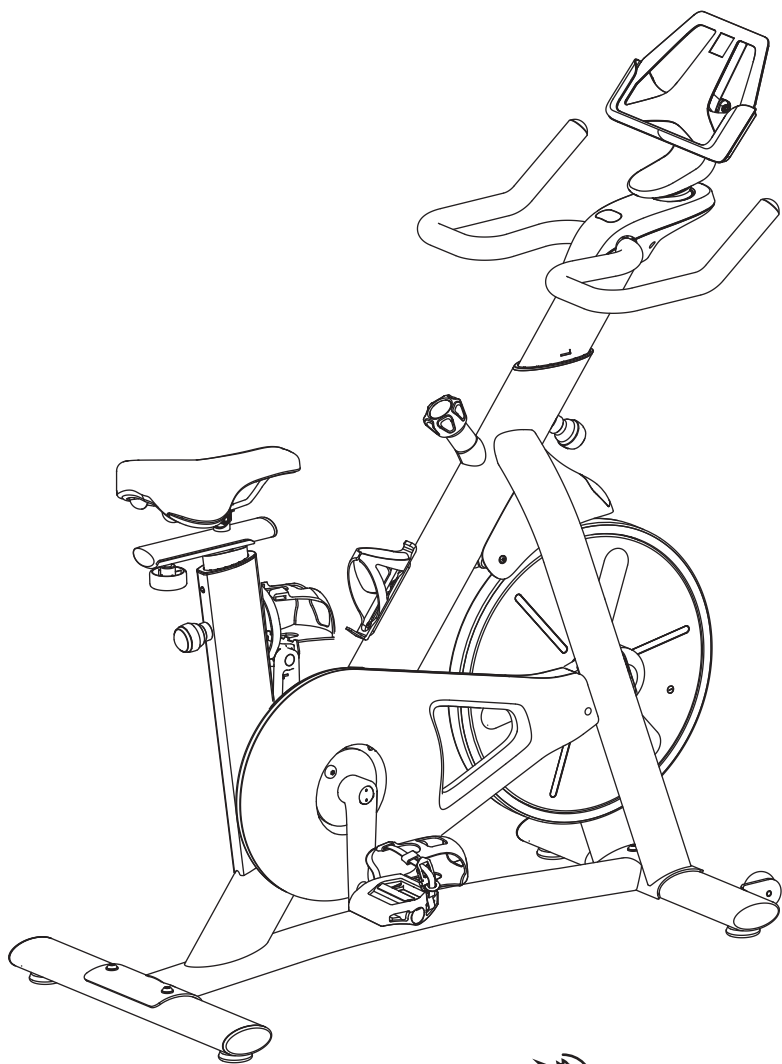




YESOUL

S3 YESOULBIKE

取扱説明書

■ はじめに

この取扱説明書は大切に保管してください。

この度はS3 YESOULBIKEをお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

安全上の注意事項

1. 取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分に理解された上でご使用ください。安全にご使用いただくために、本製品を組立てる際は取扱説明書に沿って組立て、本書に記載されている内容を守り、自己責任のもとでトレーニングを行ってください。本書記載の項目および注意事項を厳守されずにご使用されて生じた、いかなる事故につきましても、弊社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 安全のため、定期的に本製品の点検を行い、摩耗や損傷がないかご確認ください。
3. 安全のため、取扱説明書の指示内容を守ってご使用ください。本製品の「組立て時」および「点検時」に、部品に異常が見つかった場合や、ご使用中に製品から異音が聞こえたら、直ちに使用を中断してください。これら異常について修理、改善されるまではご使用をお控えください。

組立て前の注意事項

1. 本製品をご使用になる前に、次に該当する場合は、使用前に必ず医師にご相談ください。医師の治療を受けている方、健康状態に異常を感じている方、安全に使用するのに支障をきたす可能性のある健康状態の方、心拍数、血圧、コレステロール値に影響する投薬を受けている方は、使用に影響がないかを、必ず医師にご確認ください。
2. 次のような症状が出た場合は、運動を中止し、医師にご相談ください。
 - 身体の痛み ● 胸部の圧迫感 ● 動悸 ● 息切れ ● めまい ● 吐き気
3. 小さなお子様やペットのいる場所でのトレーニングはお避けください。本製品は大人の方がご使用いただけるよう設計されています。
4. 本製品の耐荷重は、最大約120kgです。
5. 本製品の使用は健康な方を対象としています。治療目的としてのご使用には適しません。

組立て時の注意事項

1. 設置の際は十分な場所を確保し、製品本体から少なくとも約50cmの可動域が確保できる、水平な床の上に置くようにしてください。また、マットを敷くなどして、床や既存の家具に傷がつかないようにご注意ください。
2. 本製品を持ち上げたり移動させる場合は、腰痛を引き起こす原因となる場合がありますので、重量物を取り扱う際の適切な姿勢や動作をして、腰に負担がかからないよう十分ご注意ください。
3. ご自分で修理や改造を絶対に行わないでください。付属部品を外した状態でのご使用も、重大な事故の発生に繋がる恐れがあります。絶対におやめください。
4. 本製品組立て中、手や指を挟むことのないよう注意しながら、組立て作業を行うようにしてください。大人の方であっても、組立て作業は可能であればお二人で行っていただくようお願いいたします。工具を使用する際は、怪我には十分にお気を付けてください。

使用中の注意事項

1. 本製品への巻き込みを防ぐため、運動中は身体のサイズに合った運動着を着用してください。ゆったりと余裕のある着る衣服は、ご使用時に本製品に巻き込まれる危険性がありますので、避けてください。ご使用開始時間は、ゆっくりとした回転から始めてください。
2. 本製品を使用する際には、必ずストレッチ運動を行いウォームアップしてください。
3. ご使用前には毎回、サドルやハンドルなど各部品がしっかり固定されているか、必ずご確認ください。部品に緩みがあると、怪我や異音発生の原因となります。
4. ペダルは、ボルトが緩んでいる場合、ご使用中にパーツが外れることがあり、重大な事故を引き起こす恐れがあります。
5. 本製品の連続使用時間は100分です。100分以上の連続使用はお控えください。

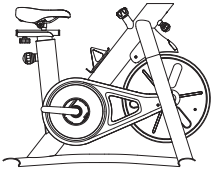
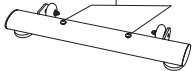
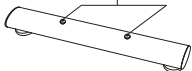
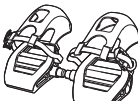
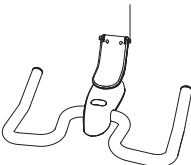
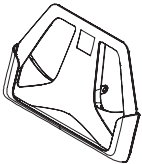
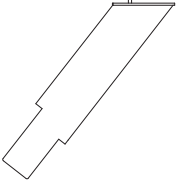
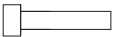
■ 製品仕様について

タブレットホルダー	最大タブレット幅(約26cm)
対応ソフトウェアバージョン	iOS 10.0以降およびAndroid 5.0 以降
負荷方式	マグネット負荷システム
駆動方法	ベルト駆動
電源	ボタン型電池(モデル:CR2477)
センシングシステム接続	Bluetooth
適応身長	約149cm～約195cm
耐荷重	約120kg
製品重量	約30kg
発送重量	約35kg
製品サイズ	高さ 約126cm(最大時・タブレットホルダー部分含む) 横幅 約51cm 長さ 約109cm(タブレットホルダー部分含む)

※仕様の変更により、ハードウェアやソフトウェアは実際の製品と本書が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 梱包部品一覧表

1. 梱包を開けましたら組立てを行う前に、各部品・付属品が揃っているかご確認ください。
2. 不足している部品がある場合は、お手数ですがSTEADYカスタマーサポートまでご連絡ください。その際、下記部品名称をお知らせください。(連絡先:P14)
3. 不足している部品がある場合は、部品全てが揃うまで、ご使用をお控えください。

1.本体 	2.土台前(車輪付き) ※ボタンボルト×2 ※M8×45/ワッシャー×2 	3.土台後 ※ボタンボルト×2 ※M8×45/ワッシャー×2 	4.ペダル(左・右)  (左) (右)
5.ハンドルバー ※ボルト×2 ※M6×16/ワッシャー×2 	6.タブレットホルダー 	7.ハンドルチューブ 	8.ハンドルバー用ボルト×2 
9.ワッシャー×2 	10.装飾カバー 	11.ドライバー付き六角レンチ(6mm) 	12.六角レンチ(6mm) 
13.スパナ 			

「※」は部品に付属しています。

■ 組立て手順

STEP

01

土台を本体に取り付けます

STEP 1で使用する部品リスト

1. 本体



2. 土台前(車輪付き)



3. 土台後

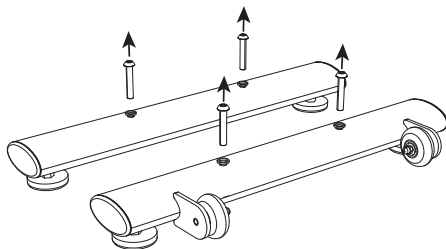


11. ドライバー付き六角レンチ



1

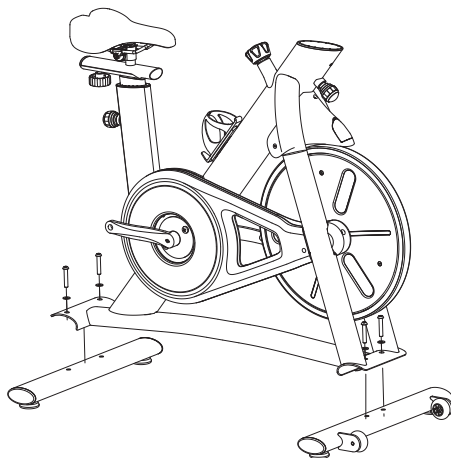
⑧土台前(車輪付き)と⑨土台後に付属しているボルトとワッシャーを⑩ドライバー付き六角レンチで取り外します。



2

⑪本体のネジ穴に⑧土台前と⑨土台後の穴を合わせます。

①で取り外したワッシャーとボルトを取り付け、⑩ドライバー付き六角レンチで固定します。



STEP

02

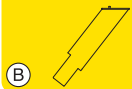
ハンドルチューブを取り付けます

STEP 2で使用する部品リスト

1.本体

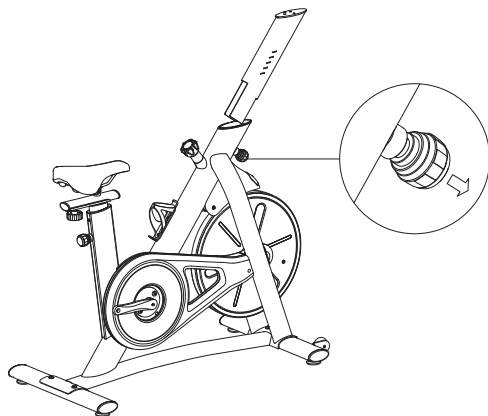


7.ハンドルチューブ



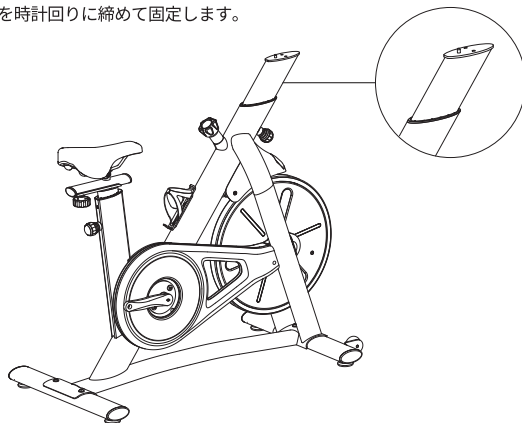
1

①本体に付属しているハンドルバー調整ノブを引しながら②ハンドルチューブを挿し込みます。



2

①本体のネジ穴と②ハンドルチューブを合わせます。
ハンドルバー調整ノブを時計回りに締めて固定します。



STEP

03

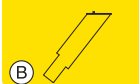
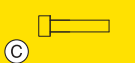
ハンドルバーを取り付けます

STEP 3で使用する部品リスト

5.ハンドルバー



7.ハンドルチューブ

8.ハンドルバー用
ボルト×2

9.ワッシャー×2



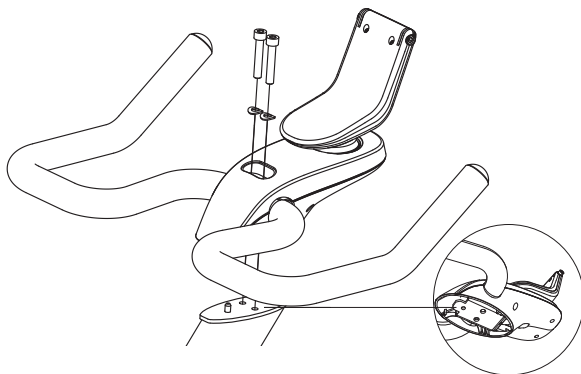
10.装飾カバー

11.ドライバー付き
六角レンチ

1

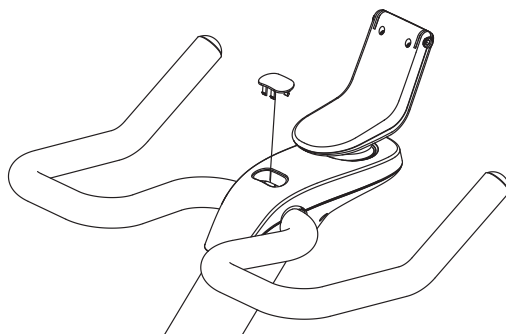
①ハンドルバーを⑦ハンドルチューブのネジ穴に合わせます。

③ハンドルバー用ボルトと⑨ワッシャーを取り付け、⑪ドライバー付き六角レンチで固定します。



2

②ハンドルバーに⑩装飾カバーを固定します。



STEP 04

タブレットホルダーを取り付けます

STEP 4で使用する部品リスト

5.ハンドルバー



6.タブレットホルダー

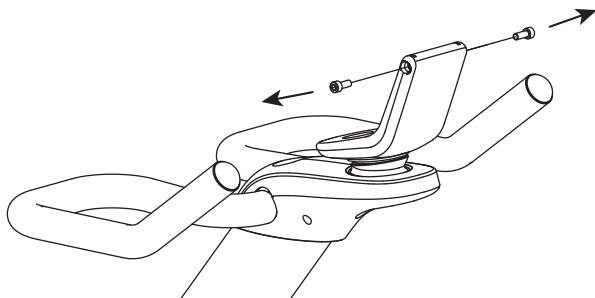


12.六角レンチ



1

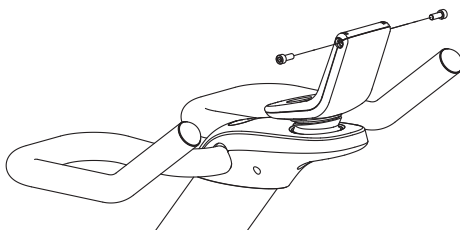
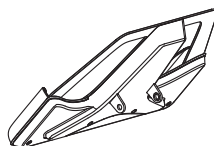
① ハンドルバーに付属しているネジを③六角レンチを使用し取り外します。



2

② ① ハンドルバーの挿し込み口に②タブレットホルダーを取り付けます。

①で取り外したネジを挿し込み、③六角レンチを使用し固定します。



STEP

05

ペダルを取り付けます

STEP 5で使用する部品リスト

4.ペダル



A

13.スパナ



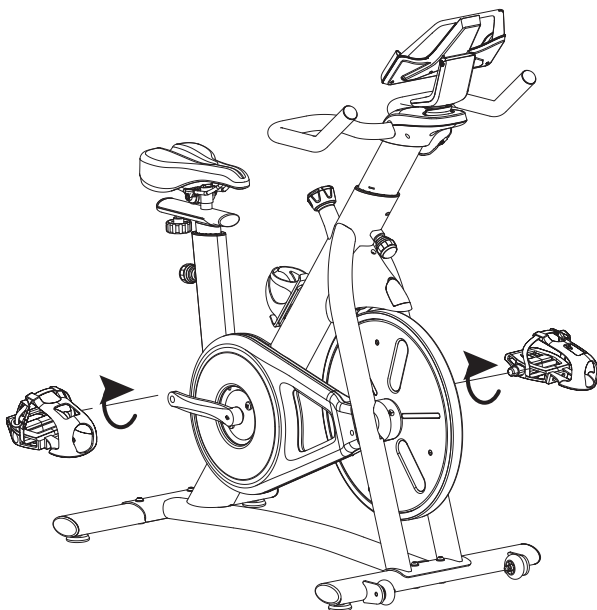
B

1

①ペダルには右「R」/ 左「L」のシールが貼られています。
本体側にも同様の表記があることを確認してください。

2

②ペダルを本体に挿入し、②スパナを使用して
右ペダルは時計回り、左ペダルは反時計回りに固定します。

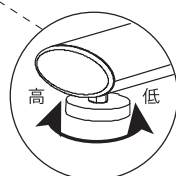
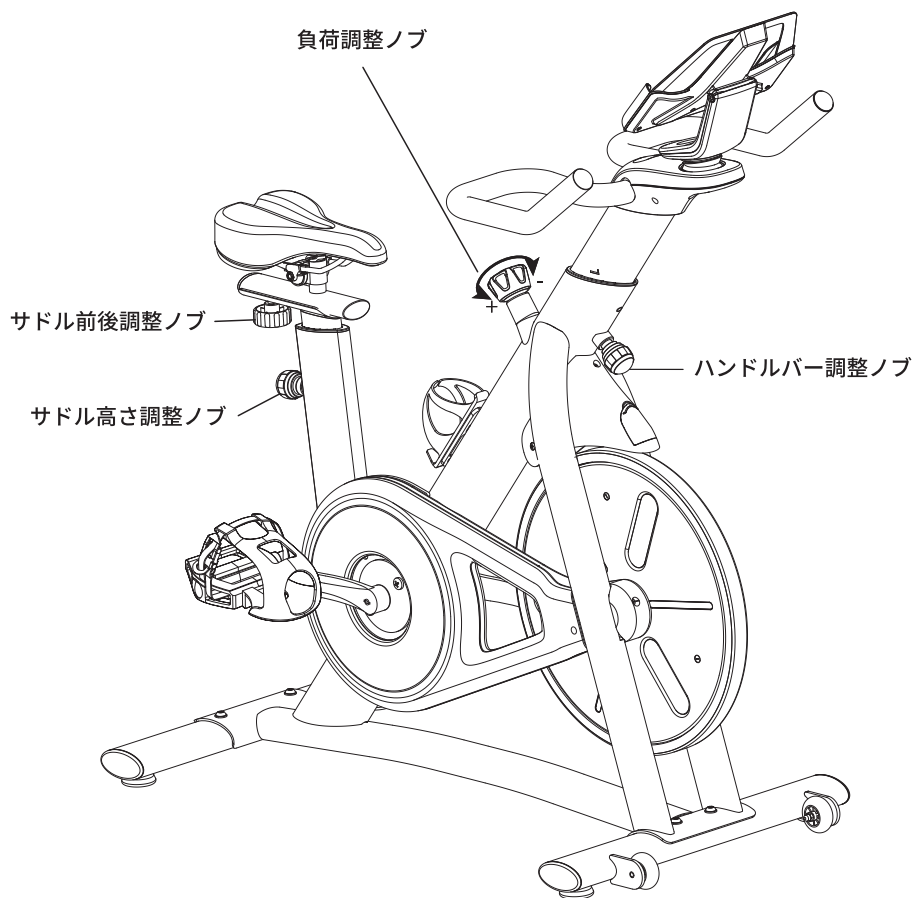


⚠ 注意

逆回転するとペダルが緩みやすくなりますのでご注意ください。

逆回転した場合は、ペダルの緩みによる事故防止のため、ペダルが固定されていることをご確認ください。

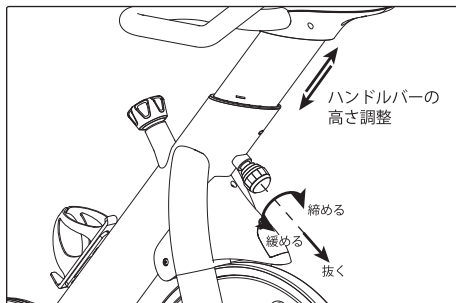
各部分の調整について



水平アジャスター

■ ①ハンドルバー調整ノブの使用方法

- 1.片手でハンドルバー調整ノブを緩めます。
- 2.もう片方の手でハンドルバーを変更したい位置まで持ち上げます。
- 3.調整ノブを離し、スプリングが穴に固定される「カチッ」という音がするまでハンドルチューブを上下にゆっくりと動かします。
- 4.調整ノブを回して強く締めます。

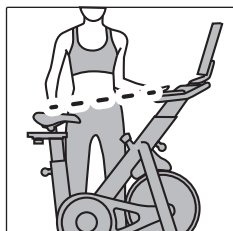


■ ②ハンドルの高さ調整

身長やサイクリングの経験値に合わせて、ハンドルを適切な高さに設定します。

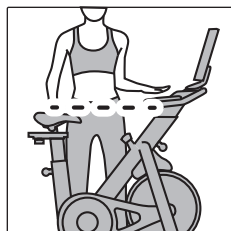
初心者の場合

ハンドルの位置はサドルよりもやや高めに調整します。



経験者の場合

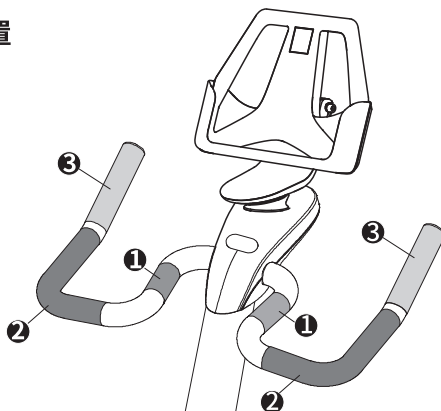
ハンドルとサドルの高さを同じにするか、ハンドルがサドルに対してやや低めに調整します。



■ ③トレーニング動画での手の位置

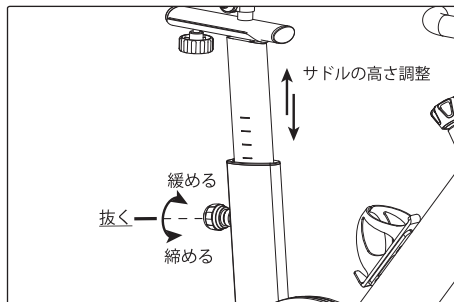
トレーニング動画では、トレーナーは対応する手の位置、ハンドルバーの対応する部分を以下のように示します。

- ① 手の位置 1
- ② 手の位置 2
- ③ 手の位置 3



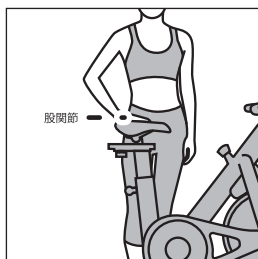
■ ④サドル高さ調整ノブの使用方法

- 1.片手でサドル高さ調整ノブを緩めます。
- 2.もう片方の手でサドルを変更したい位置まで持ち上げます。
- 3.サドル高さ調整ノブを離し、スプリングが穴に固定される「カチッ」という音がするまでサドルチューブを上下にゆっくりと動かします。
- 4.サドル高さ調整ノブを回して強く締めます。

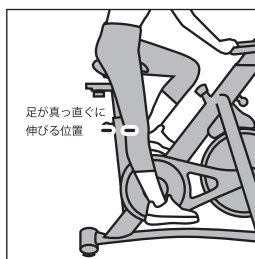


■ ⑤サドルの高さ調整

- 1.サドルの片側に立ち、サドルを腰の高さに合わせます。

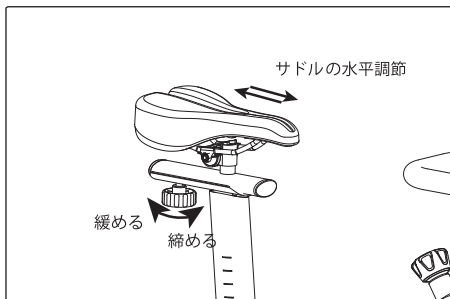
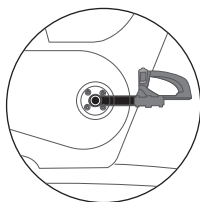
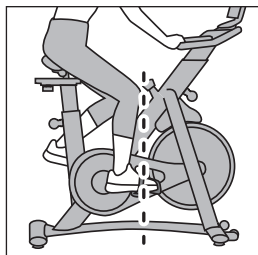


- 2.サドルにまたがり、ペダルが一番下に来た際に、膝が完全に伸びきる手前が適切な高さになります。



Ⅵ ⑥サドル前後調整ノブの使用法

1. サドルの下にあるサドル前後調整ノブを緩め、サドルを前後にスライドさせます。
2. サドルにまたがりペダルを回し、ペダルのクランクが床と平行になった時、膝がペダルと同じ垂直線の高さになるように調整します。
3. 調整後、サドル前後調整ノブを締めて固定します。



クランクが床と平行の状態

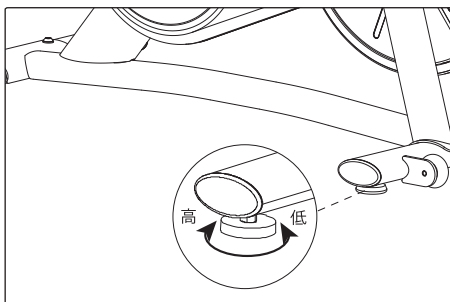
Ⅶ ⑦本体の高さ調整

水平アジャスターにて調整可能です。
高くしたい場合は右向きに、低くしたい場合には左向きにアジャスターを回してください。



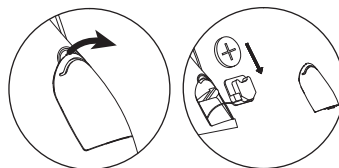
注意

高さが均でない場合、製品のぐらつきの原因となります。
水平アジャスターの高さは均一になるように調整してください。



電池の交換

1. 本製品はコイン型リチウム電池 CR2477 を1個使用します。
バッテリーカバーのすき間から絶縁ストリップを引き抜きご使用ください。
2. 電池カバーを開け、電池ホルダーの基盤を取り出します。
配線が本体に接続されているため、無理に引っ張らないでください。
3. 古い電池を取り外し、新しい電池を＋極が外側になるように押し込みます。
カバーを閉じて交換完了です。



アプリのダウンロードとBluetooth接続

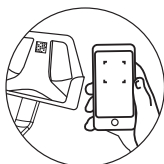
1.YESOUL FITNESS APPについて

- ・アプリは日本語に対応済みです。
- ・iOS10.0以降およびAndroid5.0以降のソフトウェアに対応しています。
- ・無料のフリープランでは、時間を気にせずフリー走行ができる「Just Ride」モードと、日本語対応されたトレーニング動画が利用できます。
- ・有料のプレミアムプランでは更に多くのコンテンツが利用できます。
お支払い方法・金額・内容などは変更する可能性があります。
詳しくはアプリ内「セッティング→メンバーシップ」をご確認ください。
- ・その他の一部コンテンツは有料です。 ※日本語未対応の画像もアプリ内に表示されることがあります。

2.Bluetooth接続方法

- 1.QRコードをスキャンしてアプリをダウンロードし、アカウントを登録します。
- 2.バイクとアプリを接続する前に、携帯電話やタブレットなどのBluetoothがオンになっていることを確認してください。
- 3.アプリを起動し、操作画面に従ってバイクと接続してください。

QRコードをスキャンして
「YESOUL FITNESS APP」を
ダウンロードします



 **YESOUL**
Android/iOSをお使いの方



- ・操作停止約10分後に接続が自動で切断されます。
- ・一度接続すると、2回目以降は自動的にアプリがバイクに接続します。
- ・バイクに乗ると、アプリのエクササイズモードが有効になり、自動的にコースへアクセスできるようになります。

3.Bluetoothが繋がらない場合

バイクが検出されない場合は、こちらをご確認ください。

- 1.ネットワークの状態が正常であることを確認してください。
- 2.サーチ中にバイクを漕いでいるか確認してください。
- 3.他のデバイスがバイクに接続されていないことを確認してください。
- 4.Bluetooth接続は位置情報サービスをオンにする必要があります。
位置情報サービスの設定を確認し、アプリの位置情報取得を許可してください。
- 5.デバイスの再起動をお試しください。
- 6.上記の方法で解決できない場合は、センサーの故障の可能性ががあります。
STEADYカスタマーサポートにお問合せください(P14)。



注意

- ・バイクは複数の機器に同時接続できません。ご使用前に、他のデバイスがバイクに接続されていないことをご確認ください。
- ・本製品はYESOUL FITNESS APPに加え、kinomapやzwiftとの接続が可能です。YESOUL FITNESS APP以外の詳細についてはご案内できかねますのであらかじめご了承ください。

■ お手入れの方法について

- ・保管方法：バイクは、湿気の少ない平坦な床に置きます。長期間使用しない場合は、カバーをかけて製品を清潔に保ってください。※本製品にカバーは付いておりません。
- ・本体の管理：運動後は濡れた布で汗を拭きとり、清潔に保ってください。汗が錆や劣化の原因となります。
- ・本体の点検：本体のネジが緩んでいないか、または欠損していないか定期的に確認し、締め付けてください。
- ・負荷調整ノブの点検：負荷調整ノブの緩みや欠損を必ず確認してください。負荷が適切であるかどうかを確認してください。
- ・ペダルおよびクランクの点検：ペダルやクランクのネジが緩んでいないか、定期的に確認し、締め付けてください。
- ・サドルの点検：サドルが緩んでいないか、定期的に確認し、締め付けてください。サドルは乾いた布で拭いてください。

■ 不具合と感じたら

症状	原因	対応方法
Bluetoothが接続できない	接続機器の設定	13ページを参考に確認してください。
異音がする	ペダルの緩み	スパナを使用しきつく締めてください。
バイクがガタつく	水平アジャスターの不均衡	ペダルチューブ下の水平アジャスターを回し、高さを調整してください。
ハンドルチューブが本体に入らない		ご自宅に潤滑剤をお持ちの場合は、使用していただくことでスムーズに取り付けできます。
錆がある		STEADYカスタマーサポートにお問い合わせください。

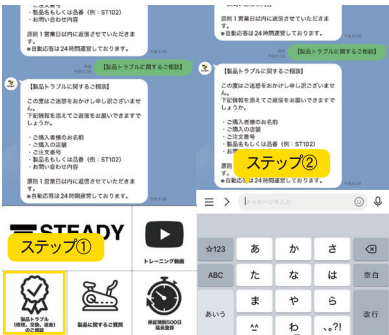
■ STEADYカスタマーサポートへ連絡したい場合

製品に関するご質問、不具合がございましたら、QRコードを読み込んでいただき、LINEかメールフォームからお問い合わせください。

LINEでのお問い合わせ



ステップ① “製品トラブル”をタップしてください。
ステップ② ご質問を入力してください。



お問い合わせフォームからのメール送信



お名前、メールアドレス等をご入力
のうえ、送信ボタンをクリック
してください。

お名前 (フルネーム)*
山田 太郎

メールアドレス*
sample@email.com

購入した店舗*

お問い合わせ内容

お問い合わせの内容

送信

【CS連絡先 & 営業時間】(平日 9:00~17:00 / 年末年始を除く)

メールアドレス: support@steadyjapan.zendesk.com

電話番号: 03-4540-6531

